

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年3月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672000058
法人名	社会福祉法人 尚徳会
事業所名	グループホーム 遊花里
所在地	鹿児島県指宿市山川岡児ヶ水1211 (電話) 0993-35-0220
自己評価作成日	平成25年11月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年2月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・社会福祉法人が経営する特別養護老人ホームを母体とした併設施設であり、法人嘱託医・看護師による医療面の連携・協力体制や同一敷地内の併設事業所である、デイサービスセンターやホームヘルプステーション、在宅介護支援センター等との連携・応援体制も整っている。
- ・天気の良い日は、ホームの東側にある「きずな公園」でお茶を飲んだり散歩をするなど気分転換を図りながら、楽しく穏やかな生活が送れるよう支援している。
- ・定期的に家族に発送する「ゆうかりメール」は、個々の様子を記載し個別の便りとなっており、家族からの評判も良い。
- ・利用者一人ひとりの思いや意思決定など支援するなかで、毎月、利用者・職員合同の会議を持ち、それぞれの意向をお伺いし支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは、社会福祉法人の経営する事業所で、他の事業所も同一敷地内にあり、24時間医療連携体制が整っている。
- ・職員は、入居者の力量を引き出し自立支援に繋げている。
- ・ホームは清潔で共用空間には空気清浄機、居室には加湿器が設置されている。
- ・地域とのかかわりの中で小学校の入学式に招待され、干支を新入生にプレゼントしたり、高学年の児童からは収穫した大きいスイカが差し入れされ、地域との交流が行われている。
- ・災害対策として、社会福祉法人全体で年2回、地域も参加して夜間召集訓練を行い、連絡網や避難経路の確認をしている。毎月2回消防署の指導を受け、地震・津波を想定した訓練を実施している。緊急避難指定施設となっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は職員の目の届く所に掲示し、ミーティングの時はみんなで復唱している。 また、勉強会も行いながら認知症の方の人権を尊重した基本的ケアを確認している。	ホーム独自で考えた地域密着型の理念を玄関に掲示し、ミーティングの時、職員全員で唱和し、ケアの実践を振り返っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事へ参加したり、施設の行事「リハビリ大会」などへの参加の呼びかけを行い、地域交流を図っている。また、デイサービスと連携してボランティアとの交流も推進している。	施設の行事「リハビリ大会」に、地域住民が参加している。小学校の入学式には毎年、干支をプレゼントしたり、児童からは授業で栽培したスイカが届いたり、介護体験を受入れている。周辺の畑作業している人との会話やボランティアの受け入れ等、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	法人が主体となり、家族及び地域住民を対象にした講演活動やふれあい教室を開催し、地域との繋がりを強めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に運営推進会議を開催し、ホームの生活状況・ひやりはっと報告・地域交流行事・外部評価の結果等の報告を行い、委員からの意見を参考に、サービスの向上に役立っている。	会議は定期的に行われ、ホームの活動内容や外部評価結果報告などを行い、ヒヤリハットや防災関係・感染症など意見交換して、提起された意見をサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議や市のグループホーム連絡協議会への参加で情報を提供していただき、運営上の疑問点など相談している。	市の担当者とは、日頃から報告や課題などを相談している。運営推進会議に参加して、現場の意見を聞いている。市のグループホーム連絡協議会に参加して、情報を得たり、ホームでの取り組みを積極的に伝え協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	事業所全体で安全管理委員会を設置し会議を開催して、身体拘束ゼロへの理解を持ち拘束をしないケアを実施している。	年2回事業所の管理者による事故事例報告会があり、身体拘束廃止委員会マニュアルもある。月1回のミーティングで報告や意見交換を行い離床センサー・徘徊センサーの活用や在苑チェックを30分から1時間毎に実施し、職員の連携で安全を確保し声かけの方法を振り返る学習会もしている。外に出たい背景や思いを把握して一緒に歩いたりしている。言葉による拘束にも気をつけて、拘束しないケアに取り組んでいる	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	勉強会の年間計画に虐待の防止についてのテーマを設け話し合い、虐待のないよりよいケアを実施している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	全体勉強会のテーマにあげて、職員全員で勉強し理解に努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に契約書・重要事項説明書を用いて説明し、不明な点がないかお聞きし、納得していただくよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回「意見交換会」を行い、不備や苦情、意見などを発言する機会を設け、遠慮なく申し出られる雰囲気作りに努めている。 ・契約時、苦情相談窓口のある事を説明し、玄関に意見箱を設置している。 	利用者からは日常のケアの中で思いを聞いている。月1回の利用者との意見交換会を設けて要望や意見を聞き、記録をファイルしている。家族からは、面会時や花見の弁當時・ゆうかりメールの送信・運営推進会議での意見を聴き、運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>法人運営推進会議に各事業所管理者の参加を規定し、現場の意見を聞く機会を設けている。</p>	<p>職員は意見を言える環境で1人1人の意見を検討しポータブルトイレの使用・シルバーカーの位置変更や徘徊センサーのセッティングの位置など職員間の意思統一を図るなどサービス向上に反映されている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の資格取得や自己研鑽のための各種研修への参加や、職員が向上心を持って働けるよう職能評価を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・年間の研修計画を作成し、それに沿って行っている。また、外部研修後は復命書を作成、ミーティングの中で発表し皆で共有できるようにしている。 ・外部からの講師を招いての研修も実施している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県・地区のグループホーム連絡協議会に入会し、他施設の職員と意見交換や交流ができるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	支援センターと連携し入所希望者の家庭訪問を実施し、困っていることや不安に思っていることなどを聞いて相談にのっている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所予定者の家族と面会をし、これまでの経緯を聞き、家族の気持ちに寄り添いながら関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談があった場合は、他事業所の管理者などと相談して必要な支援を一緒に考えるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者と職員の関係作りを進める中で、本人の思いを知ることにも努めている。また、支援する側でなく利用者本人が選択できる声かけを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	個別に排泄、入浴、現在の状態などを書いたものを「ゆうかりメール」という形で定期的にお送りして本人の状況を報告したり、面会時には家族の要望やご意見をお聞きし共に入居者を支えていく関係を築いている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の理解や協力に基づき、本人宅への帰宅、希望された場所への外出等を行っている。 ・電話、手紙で交流ができるよう働きかけている。 	親戚や友人・知人等の訪問を交流支援したり、電話で連絡しあったりもしている。家族の同伴で買い物に行った時、自宅に立ち寄ったり外食したり馴染みの美容室・墓参等、関係が途切れない支援を行っている。	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・天気の良い日は、敷地内の公園遊歩道にある「吾妻屋」に行きテーブルを囲み皆さんでお茶を飲んで楽しんでいる。 ・職員も利用者が孤立しないように声かけや励ましを行い支援している。 		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	併設の施設へ移られた利用者の所へ面会に行ったり、その家族にも立ち寄って頂いたり相談にのっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎月1回意見交換会があり、入居者の希望など、聞く機会を設けている。また、本人の言葉を記録し、何を望んでいるのか職員で考え共有している。	ケアの関わりの中で意向を把握し、月1回の利用者との意見交換で、行きたい所や希望を聴いている。個々人の言葉を記録してファイルし何を望んでいるのか考え共有している。日々関わる中で紙芝居の朗読に繋がった。困難な場合は、家族から意見を聴き、職員の情報などから本人本位に検討して取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・入所前に生活環境の情報など家族から聞き取りを行っている。 ・入所前の事業所に確認、連携する事もある。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の様子など職員間で情報共有するようにしている。また、一人ひとりの生活リズムや心身状態を記録し本人の全体像の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>職員が記録した個別の介護日誌と利用者や家族の思いを聞き、介護計画に取り入れている。作成後は、家族に説明しサインをいただいている。</p>	<p>日々のケアの中から、利用者の思いを聞き、医師のアドバイスを受け、家族や職員で介護計画を作成している。介護経過を月毎に確認しながら、3ヶ月に1回モニタリングし、6ヶ月毎に見直して、現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の状態の変化や気づきなどを記録し、介護計画の見直しに活かしている。 ・申し送りノートを活用し、職員間で情報を共有している。 		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>医療連携体制を活かし、入居者の身体状況の変化を早めに捉え、嘱託医や栄養士との連携を取っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>小・中学生の介護体験の受け入れや総合防災訓練を年2回行い、火災の時の初期消火・避難誘導等について分遣所の方の指導をいただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・嘱託医の週2回の往診がある。また、24時間体制で連絡ができるようになっており、緊急な対応もできている。 ・家族が選ぶ医療機関がある場合は、そこに受診できるよう協力している。 	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医を支援している。眼科・耳鼻科などは、家族同伴で受診している。嘱託医の週2回の往診や24時間医療連携体制が整っており、適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>事業所看護師、または併設施設看護職員と連携しながら健康管理を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入居者の入院に対し、家族と連絡を取りながら病状の把握を行っている。また、入院先の面会に行き経過を伺い主治医に報告し、早く退院ができるよう連携を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した入居者に対しては、家族・嘱託医と相談し状態に応じた対応を行っている。</p>	<p>重度化や終末期に向けた方針は、利用者の入居時に本人や家族に説明している。家族と連携を取り合い、状況を伝えている。急変時の時は、家族の意向を尊重して、医師と相談し、24時間医療連携体制が整っている。ホームでは看取りはしていない。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の対応等、マニュアルを作成し勉強会やミーティング後、確認しながら実践力を身につけている。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月2回実施している訓練では火災だけでなく、地震・津波なども想定し行っている。 ・緊急連絡網を作成し、法人全体で年2回夜間招集訓練を行っている。 ・地区の公民館と災害時緊急避難指定施設として使用できるように申し合わせができています。 	<p>社会福祉法人全体で年2回、地域も参加して、夜間召集訓練を行い、連絡網や避難経路の確認をしている。毎月2回、消防署の指導を受け、地震・津波を想定した訓練を実施している。防災については、運営推進会議でも意見交換を行い、緊急避難指定施設となっている。備蓄も常備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>更衣・排泄時はカーテンや居室のドアを閉めるようにし、一人ひとりのプライバシー・自尊心を傷付けないよう配慮した行動を心掛けている。また、事業所全体で人権擁護に関する勉強会を実施した。</p>	<p>年間計画で人権擁護に関する学習会を実施し、1人ひとりの人格を尊重した声かけや関わりを研修し、声の大きさや声かけ、トイレ誘導の気配りや排泄時はカーテンの外で待ったり等、プライバシーを確保しながら対応している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>毎月1回意見交換会があり、入居者の希望など聞く機会を設け自分で決められる場面を作っている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>その日その時々の体調を伺いながら生活していただいている。また、何をしたら楽しんでもらえるか、笑顔を見せてもらえるか等、常に考えながら支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> 起床後の洗面と同時に髪の手入れや入浴の際の洋服選びなど一緒に行っている。 希望の理美容院を手配したり、外出の際はお化粧品などおしゃれをして出かけている。 		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	家庭菜園があり、一緒に収穫した野菜を調理して食卓にお出しして、職員と利用者が同じテーブルで楽しく食事を摂っている。また、天気の良い日は外で青空給食を行い、好評である。	栄養士作成の献立に、自家菜園の採れたての旬の野菜が食卓に出され、職員と一緒に食べることが楽しみとなっている。個々の嗜好や口腔の状態や糖尿病食など配慮している。年間計画で行事食がある。力量に応じて食器洗いや片付け等、一緒にできる支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分チェック表を用いて状態を確認している。状態に応じ、声かけだけではなく介助を行ったり、時間をずらしたり、好きな物や好きな飲み物を摂っていただくよう工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> 毎食後に義歯の洗浄や歯磨きの声掛け、誘導を行い口腔ケアに努めている。 義歯の不整合や口腔内の異常等、協力医療機関の歯科医に往診を依頼し診て貰っている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を作り、排尿パターンを把握しトイレ誘導を行っている。また、尿取りパットを昼夜使い分ける工夫をしている。	排泄パターンを把握し排泄チェック表を活用して、昼間は職員が介助してトイレ誘導をしている。尿量を確認しながら熟睡感が得られるよう、オムツの選定や水分補給など気をつけて、排泄の自立支援に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を作成し、便秘がちな利用者に対して好みの飲み物を準備し水分補給を行い、昼間の活動を促しながら自然排便へ繋げている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	<ul style="list-style-type: none"> 入浴を楽しみにされている方も多いため、一人ひとりの入浴習慣や好みの温度に配慮しながら行っている。 寒くなると就寝前に足浴をされる方もいる。 	入浴日は昼間、週3回であるが、希望に応じて対応したり、尿失禁時に入浴している。天然温泉である。車椅子を使用している利用者には職員2名で介助して、リハビリしながら楽しんでいる。髪を洗う時の工夫や橙を入れて香りを楽しんだり、個々に応じた入浴支援をしている	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・昼寝や就寝時間は自由であり、本人のペースに合わせている。 ・眠れない時には、温かい飲み物のサービスをしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の効能や副作用を処方箋等で確認しており、副作用などが懸念される場合は看護師より職員へ注意事項の説明を行うようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・一人ひとりの生活暦や趣味を把握し、それが楽しめるよう支援している ・本人の得意とする食事の準備や掃除、塗り絵などで力を発揮されている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日は散歩を行ったり、敷地内の公園遊歩道にある「吾妻屋」の所で食事やお茶を飲んだり、また、希望を聞きながら外出している。	日常的に事業所の敷地内を散歩して、景色を眺めながら「吾妻屋」でお茶の時間を楽しんでいる。桜の頃は花見やフラワーパークに行ったり、地域行事の運動会や小学校の入学式に参加したり、地区のめんどん行事見物やドライブで墓参りや自宅訪問等にも同行支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>・入居者、家族との相談の上、それぞれの希望に応じて金銭管理の支援をしている。</p> <p>・買い物に行った際は、本人に直接お金を払っていただいている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>・家族からの電話を取り次いだり、自ら電話を利用される方もいる。</p> <p>・家族の方に対して年賀状・暑中見舞い以外にもお便りの声かけをして支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の花々・壁面構成など、女性職員の細やかな配慮により柔らかな雰囲気作りを行っている。また、その時期の旬の食材を取り入れて季節を感じてもらっている。</p>	<p>共用空間は空気清浄機が設置され、室温や湿度の管理がされている。種類が違うソファが置いてあり、一角に畳のコーナーがあり、利用者は洗濯物をたたんだりしている。個々人の好みでゆっくり過ごせる配置となっている。季節の花が生けてあり壁面には入居者と合作のひな祭りや満面の笑顔の写真などが掲示してあり、居心地よく過ごせる空間づくりの工夫がされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールのソファの所や居室がくつろぎの場になっている。一人になりたい時は、玄関ホールにテーブルと椅子を置き自由に過ごせるようにしている。</p>			
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族に親しんだ物品を居室に持ち込んでいただくよう入居時から働きかけている。</p>	<p>居室は、洗面台や加湿器・入り口には事故防止のために足元灯が設置してある。自宅から持ち込まれたタンスやテレビ・位牌・ソファが置かれ、手作りの作品やカレンダー・家族の写真等が飾られ、個性のある部屋で居心地よく暮らしている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・廊下には転倒防止の手すりが設置されている。 ・床はバリアフリーとなっており、利用者一人ひとりの身体機能に合わせた動きができるようにしている。 			

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない